

仙台海岸出張所通信



Vol.6

平成17年7月  
国土交通省  
東北地方整備局  
仙台河川国道事務所  
仙台海岸出張所

巨理郡巨理町逢隈  
田沢字砂押 35-1  
TEL 0223-34-6970

## 7月は 海岸愛護月間 です！

(7月1日～7月31日)



国土交通省と地方公共団体等では、今年も7月1日（金）から7月31日（日）までの一ヶ月間を「海岸愛護月間」と定め、「美しく、安全で、いきいきした海岸を目指して」を推進標語とし、様々な運動を行っています。

この運動は、近年海岸の利用が拡大・多様化していることを踏まえ、みなさんの共有財産である海岸をきれいで安全な状態に保つため、理解と関心を深めていただき、さらに快適でうるおいのある海岸にしていくことを目的としています。

当出張所管轄の仙台湾南部海岸においては、海岸にゴミ等を捨てないように呼びかけています。沿岸にお住まいの方や海でのレジャーを楽しまれているみなさん等は自主的に海岸の清掃活動を行っています。

また、パトロールを強化して、ゴミの不法投棄をはじめ、海岸をみだりに作業場等として使用して他の利用者の迷惑にならないよう監視しています。自動車で来られる方には、砂浜への乗り入れ自粛を呼びかけて、ハマボウフウなどの小さな植物の保護に努めています。

海岸を利用する際は、ゴミは持ち帰り各市町村の処理方法に従い適切に処分しましょう。



不法投棄されたゴミ



ボランティアの清掃活動



植物保護の看板設置

～ みんなが気持ち良く海岸を利用できるよう、ご理解とご協力をお願い致します。 ～

# 蒲崎海岸消波工工事の見学会

～ 玉浦小学校 総合学習 ～

平成17年6月17日午後、岩沼市立玉浦小学校3年生の児童61名が、総合学習のため蒲崎海岸を訪れました（これに先立って、午前中には近隣にある二の倉海岸海浜公園内で自然観察・水棲生物調査を行いました）。



蒲崎海岸は堤防のない区間（無堤部）が約1kmあります。堤防がないと津波や高潮が発生した場合、そこから簡単に陸地へ海水が押し寄せてしまう可能性が高くなります。従ってなるべく早く堤防を造る必要があります。

堤防を造ろうとしている場所は波打ち際になっているので、最初にそこを陸地化しなければなりません。現在、実施している工事は、堤防を造る場所を陸地化するための消波ブロック設置工事です。

見学当日はまだ、その消波ブロックを設置するための進入路及び足場として工事用道路を造っていた段階です。小学生のみなさんには、8tの消波ブロックを製作している所と、50～500kgの石をダンプトラックで運び、バックホーで工事用道路を造っている作業を見学して頂きました（6月末頃からは消波ブロックの設置も始まっています）。



砂浜には波の勢いを弱めるという重要な働きがあります。蒲崎海岸は宮城県内でも砂浜の侵食が激しい海岸であることから、パネルを展示して侵食のメカニズムを知ってもらい、さらに将来的には砂浜を復活させるためのヘッドランド（人工岬）を造る計画もあるため、ヘッドランドの模型も展示し、その構造を見てもらいました。

みんな普段は間近で見ることのできない、迫力ある工事現場の作業を食い入るように見つめ、パネルや模型についても熱心に担当の職員に質問していました。

今回の工事現場の見学会は、総合学習のために、工事を監督している当出張所が安全管理体制を十分に確保し、特別に開催したものです。工事現場は危険ですので、通常は絶対に近寄ったり立ち入ったりしないようご協力願います。

作業を食い入るように見つめていました



パネルとヘッドランドの模型を見学しました

